

## 第6章 救いの歴史の出来事

神の救いの歴史の中で、最も大切な要素であるミサについてどのように子供たちに教え、導くか、その一方法について考えてきました。

この章ではイエスさまの時代、いつ、どこで、どのようにミサを（最後の晩さん）お定めになったかを、歴史の出来事を地図を使って考えてみましょう。

世界地図を拓げてみますと、なんとなく自分の国が世界の中心にあるような気がします。

旧約聖書において、神がイスラエルの民に示した地を、私たちは「聖地」と呼んでいます。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教徒にとって重要な地となっています。

神が人間の救いを実現なさった地ですから世界の中心となる地であるのは当然です。

地図はパレスチナ（イスラエル）に目を向けます。

教会は聖書と典礼を通して私たちに日々の信仰の糧を与え続けます。

したがって遠い昔の出来事、私たちの現在の生活とかかわりのない事がらとしてではなく、神さまのみわざが世の終わりまではたらきつつけているという神秘を扱います。

● 年齢 初聖体

● 教材

- A はめこみ地図 州 写真 ①
- B パレスチナの地形 写真 ②（高学年で）
- C パレスチナの都 町 写真 ③
- D エルサレム（イエスの時代）の町 写真 ④  
名前を書いた旗（象徴、色） 写真⑤⑥

● カード 14cm×14cm

A B C Dの名前を説明する。Dはイエスさまの御受難、御死去、御復活の場所の説明もする。

シンボル 星、十字架、鳩（黄色）

カードの例

ナザレトはマリアさまが住んでいた町です。大天使ガブリエルがマリアさまにあらわれ「あなたは神の母になるでしょう」と告げた町です。シンボルは鳩を画きます。聖霊。

聖書に出てくる町の名前の旗

ナザレト、ベトレヘム、エルサレム、カファルナウム、チェザレア、フィリッポ、ティベリアの町、カナ、サマリア（シケル）、ナイン、ペトサイダ、エリコ、ベタニア、エンマウス、ベトファゲ、アリマテア、ヨルダン川、地中海、ティベリア湖、死海、ガリレア州、サマリア州、ユダヤ州、ヘレア州等。

人名、町の名、地名は赤で、説明文は黒字で書きます。

## 教えの要点

地球儀、世界地図で現在のイスラエルを示します。イエスさまの時代はローマ帝国が支配していました。

はめこみ教材は色と型と名前をしっかりと教えて、めくら板を使います。

地形は模型、立体的に見せることが出来れば良いのですが高学年用です。

死海、ヨルダン川、ティベリア湖、地中海、ユダの砂漠等。

エルサレムの町はイエスさまの御受難、御死去、御復活（十字架の道）を示します。最後の晩さんの家。

## 作業

州、町の地図を画きます。

カードをうつし説明を書きます。

説明を読みながら地図に旗をたてていきます。

## 直接のねらい

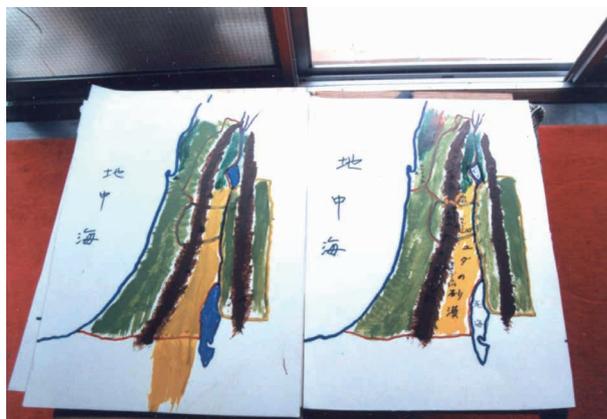
歴史の出来事が聖書と典礼によって今でも伝えられていることを強く印象づける。間接的に聖書を読むことに興味をもたせる。

## エルサレムの町の旗

最後の晩さんの家、ゲッセマニの園、カイファの館、ピラトの館（アントニアの塔）へロデの館、カルワリオの丘、復活の墓、神殿、シロエの池、ケデロンの谷、城壁。



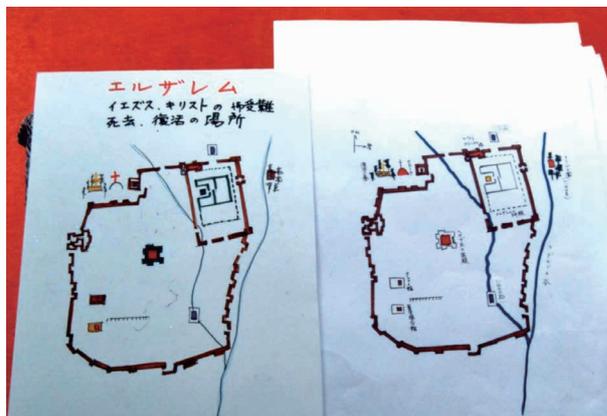
写真①



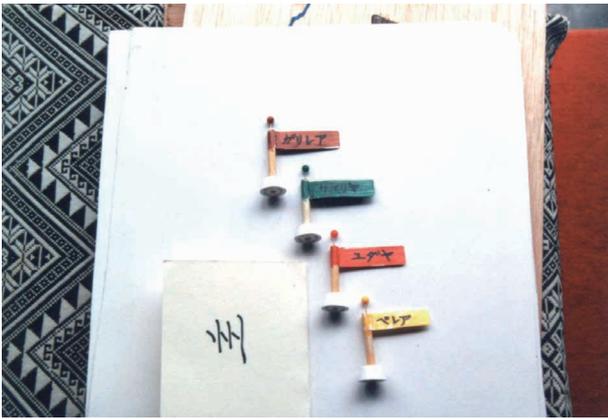
写真②



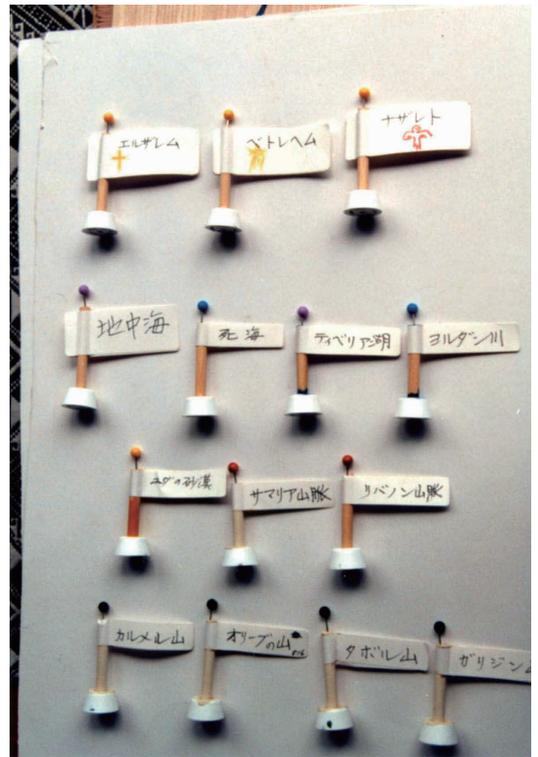
写真③



写真④



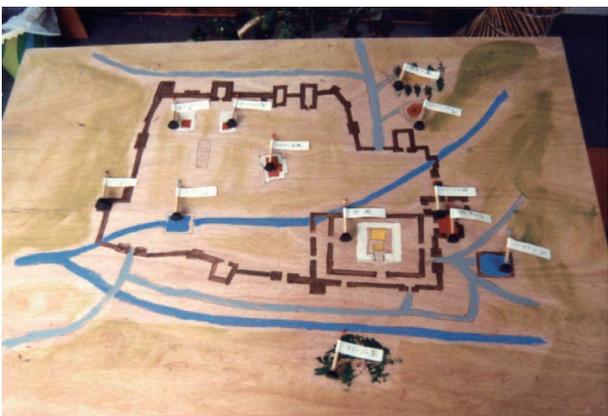
州を示す旗の写真⑤



地形の旗の写真⑥



補足写真 (6-1)



補足写真(6-2)



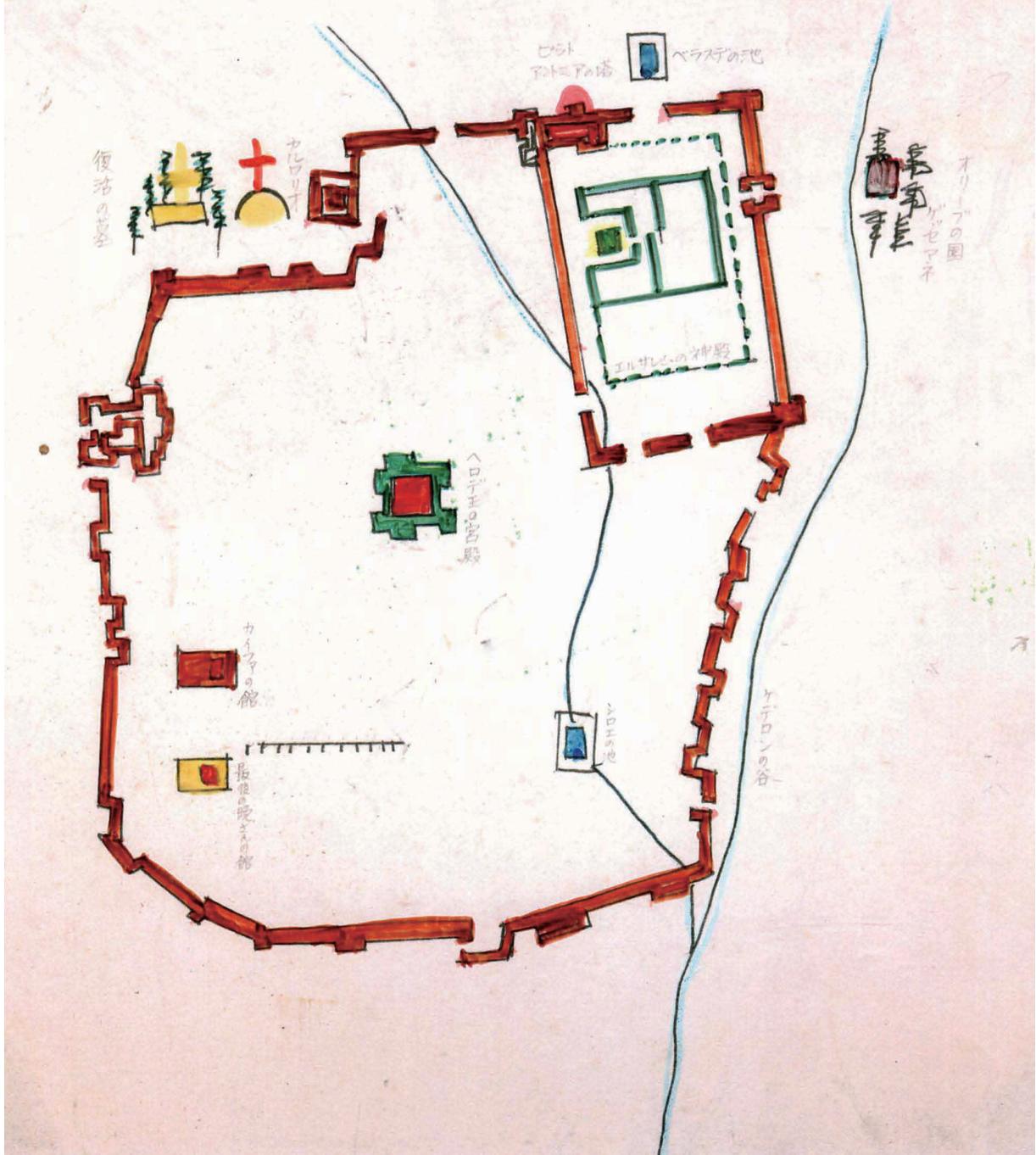
補足写真(6-3)



補足写真(6-4)

# エルザレム

イエズス・キリストの捕受難  
死去・復活の場所



補足写真(6-5)